

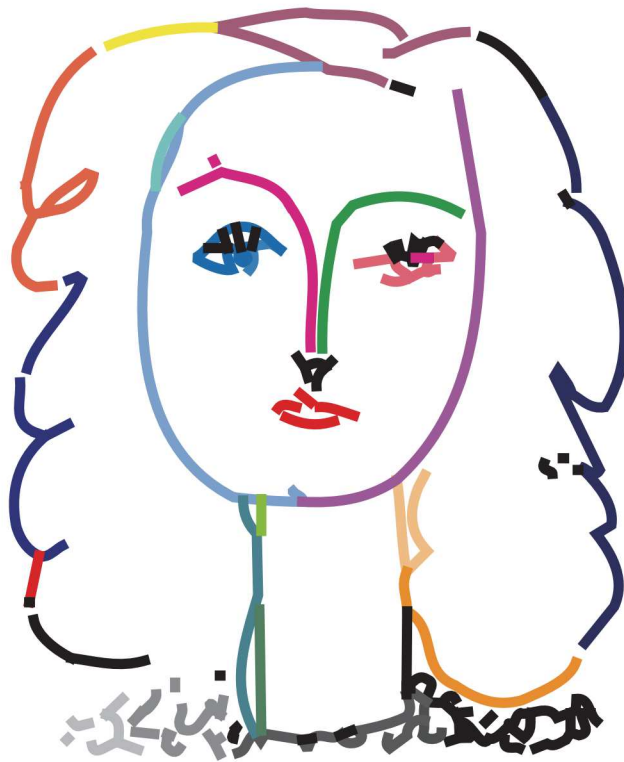
医療機器プログラム「画像診断システム」

管理医療機器 特定保守管理医療機器 汎用画像診断装置ワークステーション 画像診断システム 認証番号:226AIBZX00036000

CephaloMetrics AtoZ[®]

セファロメトリクス エートウジー

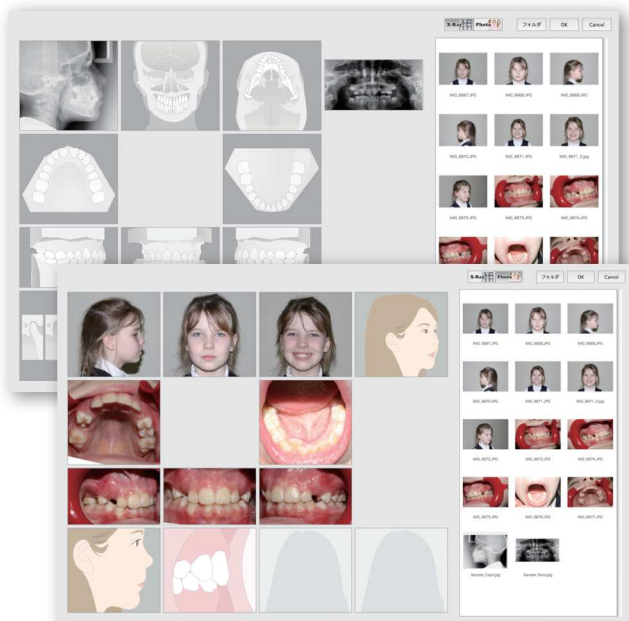
矯正歯科、口腔外科、小児歯科向け分析診断支援ソフトウェア



安永コンピュータシステム株式会社

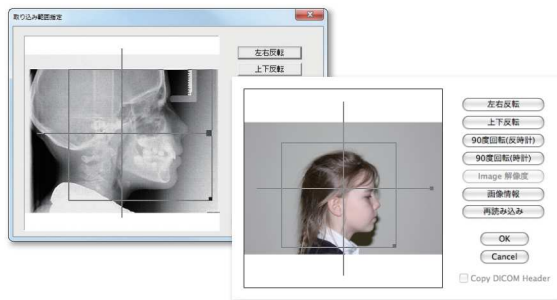
画像データをまとめてサムネイル入力

サムネイル入力機能では、画像を確認しながらドラッグ&ドロップでAtoZに取り込みます。



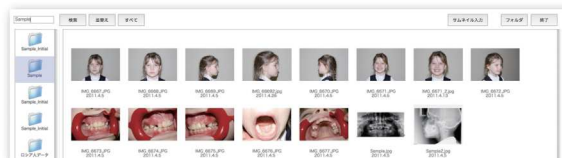
レントゲン画像取り込み

各メーカーのデジタルレントゲン装置に対応しています。ファイル形式はJPEGに加え、DICOM, TIFF, PNGファイルも対応。



JPEG 画像フォルダー閲覧機能

AtoZに取り込まれた患者さんの画像データの閲覧。左側に患者さんのフォルダが表示され、右側にはその患者さんのJPEG画像が表示されます。患者画像データを管理します。



分析ポイントの入力

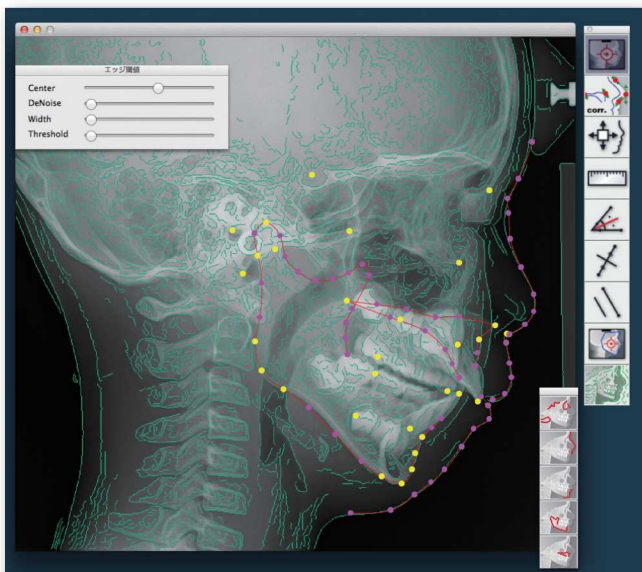
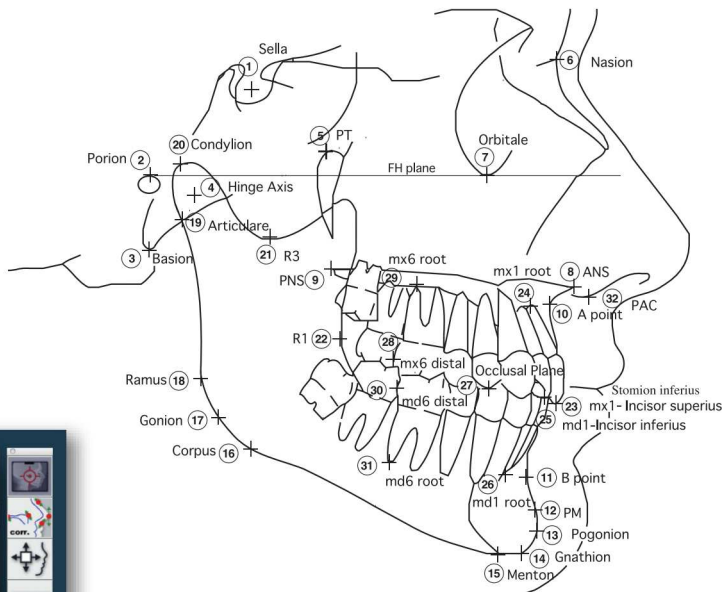
側貌分析ポイント

側貌分析では32分析点と4本のラインを入力することでほとんどの分析が行えます。

ver18からトレースラインの自動入力機能が追加されました。

オートトレース入力

ポイント入力後、コンピュータが内部演算でエッジ処理を行い、セファロから軟組織を抽出し、ラインを自動入力します。硬組織のラインは入力された分析点を元に自動入力されます。ラインはそれぞれスムーズライン曲線で修正できます。各パーツラインの引き直しも可能です。



テンプレート入力

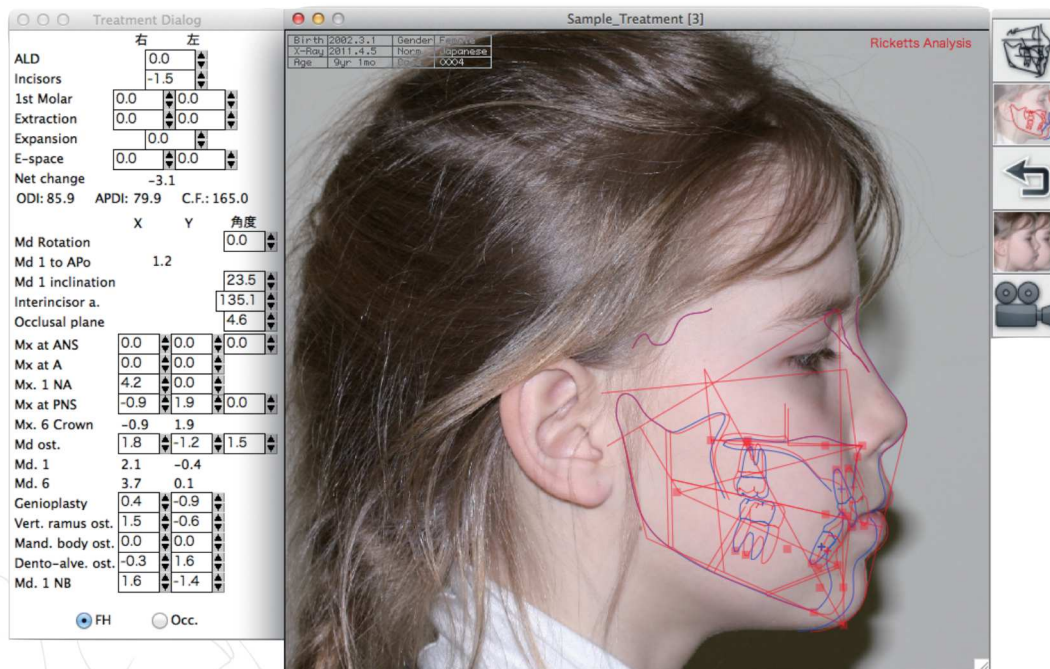
標準の値や患者初診時の座標値をベースにテンプレート入力。Porion, Orbitale, Gnathionの3点、またはSella, Nasionの2点を入力すると全てのポイントが自動的に表示され、後は各ポイントをマウスでドラッグして入力。

セファロの取り込み～分析を5分で

テンプレート入力とトレースラインの自動入力機能を使用すれば、レントゲンの取り込み～分析までにかかる時間を大幅に短縮することができます。

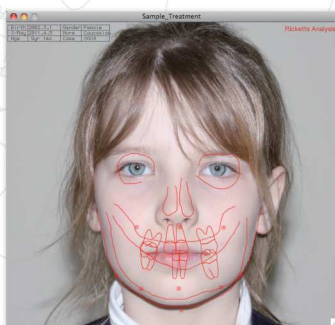
AtoZ[®] は患者さんに説明がしやすいツールです。

矯正・口腔外科シミュレーション



矯正と外科のシミュレーションが行えます。

外科シミュレーションは、ラテラルの場合下顎骨4ヶ所、上顎骨1ヶ所で骨切り可能。



正貌シミュレーション

側貌と同様に正貌も外科シミュレーションがサポートされます。

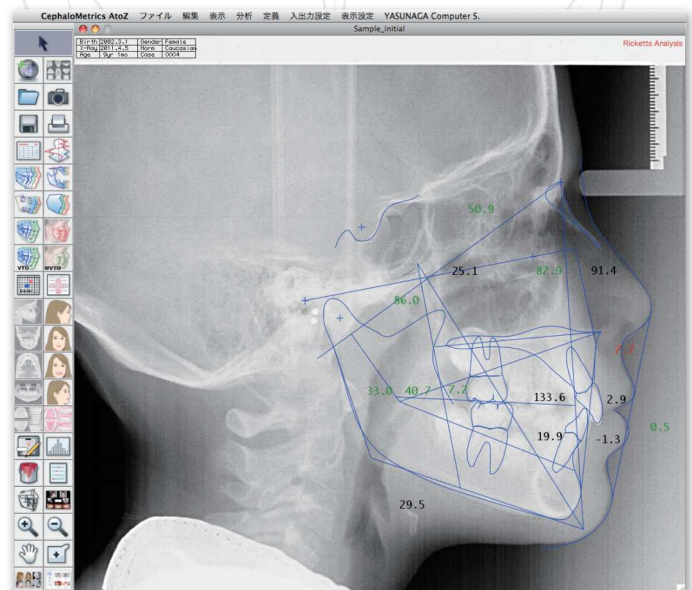
モルフィング化

側貌や正貌の画像の変化をスムーズに表現。また、ムービーも作成でき患者さんへプレゼンテーションできます。



セファロ分析

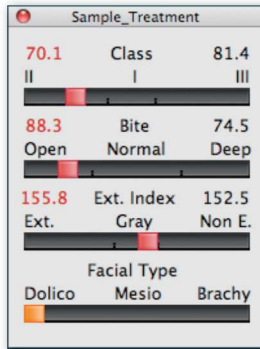
- 側貌分析は Ricketts, Steiner, McNamara, Downs & Kim, Jarabak, 角度分析, 距離分析, 軟組織分析 (Soft tissue, アーネット), Bimler分析, Tweed, Roth などの14種類の側貌分析。角度分析は7種類の分析が選択できます。ユーザー独自の分析の定義や変更も行えます。
- 正貌分析 Ricketts分析, シンメトリ分析などの分析が6種類行えます。
- 軸位分析 5種類がサポートされています。
- 正貌分析 Ricketts分析, シンメトリ分析などの分析が6種類行えます。
- 統計処理 平均値, 標準偏差, 相関関係などの統計処理も行えます。
- Co-Crコンバージョン



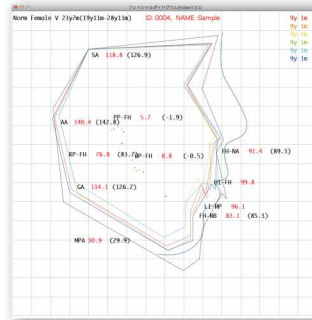
様々な機能が充実しています。

診断ウィンドウ

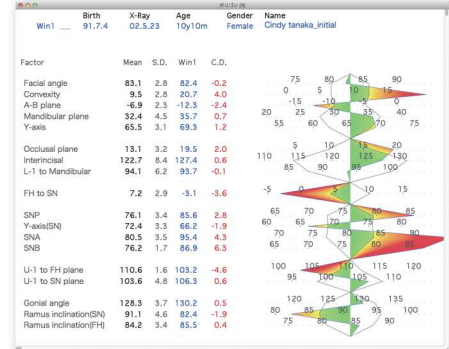
咬合のクラス分類、開咬・過蓋咬合、抜歯基準が表示されます。またDr.リケットスのフェイシャルタイプを表示しています。



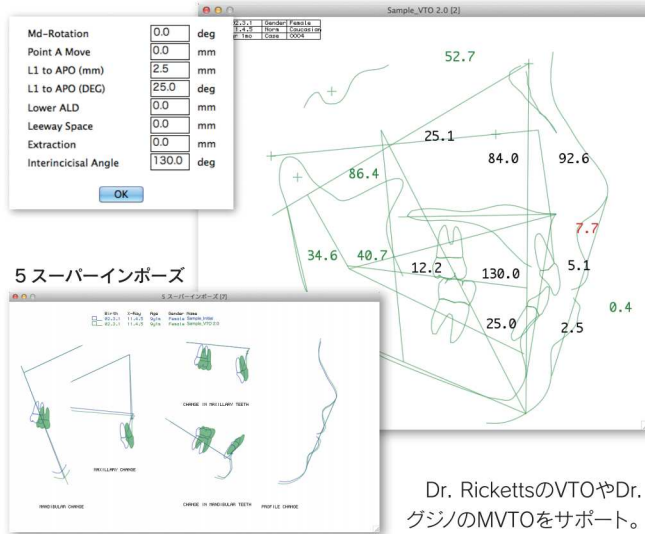
フェイシャルダイアグラム



ポリゴン表示



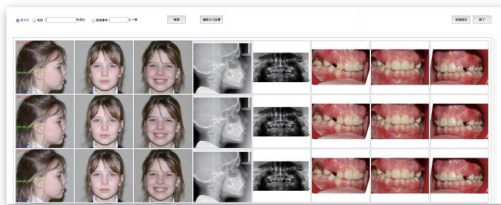
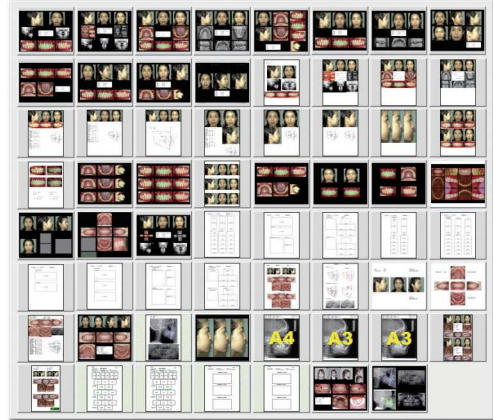
Dr. RickettsのVTO



Dr. RickettsのVTOやDr. ゲジンのMVTOをサポート。

豊富なビューフォーマット

豊富なビューフォーマットにより初診相談時に患者さんに類似した症例のプレゼンテーションや治療過程、シミュレーション前後の比較や治療結果とさまざまなフォーマットで表示、印刷できます。

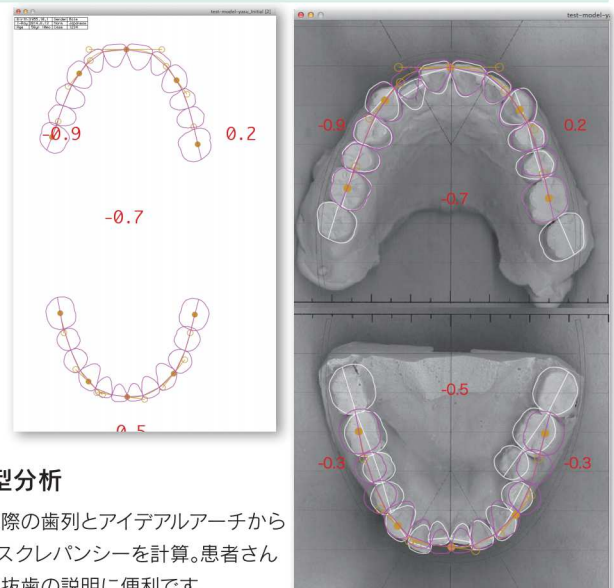
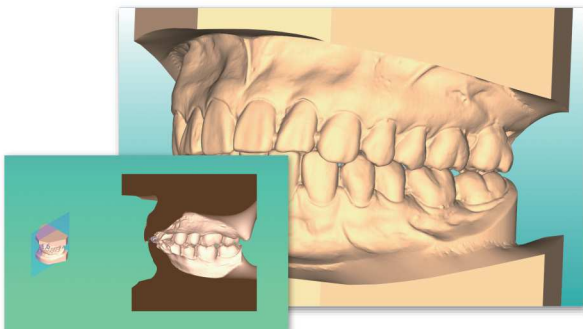


AtoZの画像データベース的使い方

画像閲覧機能ではサーバー上のAtoZ画像データの一覧表示します。時系列順に並べ替えて患者さんの治療の経過を比較し説明できます。

模型を三次元立体表示

3Dスキャナで読み込んだ口腔内や模型STLデータを直接AtoZに読み込み表示。距離や角度の計測、オーバージェット/オーバーバイトの表示等の機能があります。



模型分析

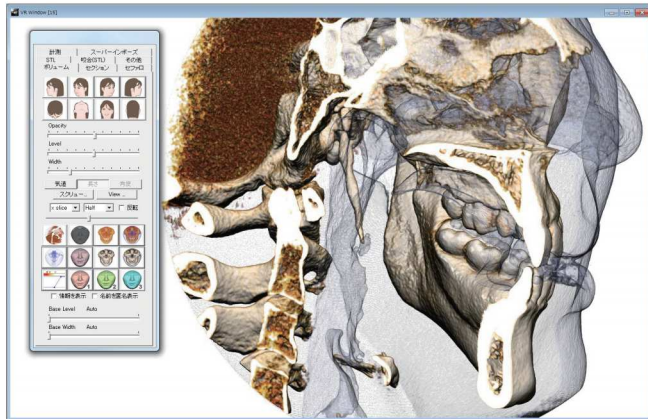
実際の歯列とアイデアルアーチからディスクレパンシーを計算。患者さんへの抜歯の説明に便利です。

CBCT ボリュームレンダリング表示

AtoZのV16から標準機能です。コーンビームCTやCT等のDICOMデータをボリュームレンダリング(VR)データで表示します。

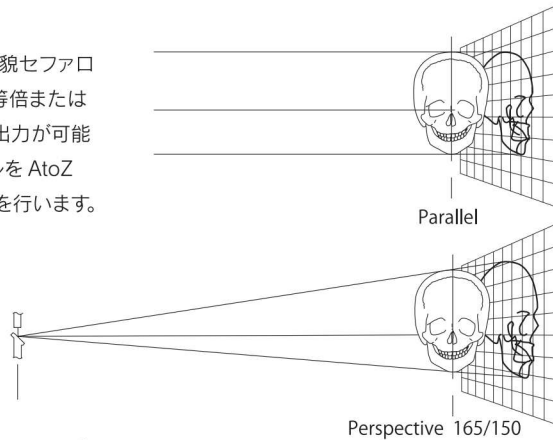
以下の機能を使用できます。

- ・3Dミニスクリューの植立シミュレーション
- ・気道の評価、距離計測、角度計測、体積計測
- ・CTからセファロレントゲン画像への変換
- ・2つのVRデータのスーパーインポーズ
- ・STLデータの重ね合わせ表示
- ・3D分析



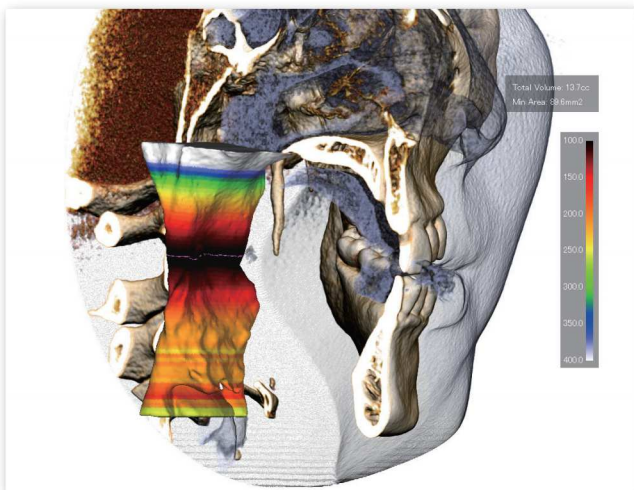
セファロ書き出し

3DVR から側貌、正貌セファロ画像を書き出します。等倍またはレントゲンの倍率での出力が可能です。作成したファイルをAtoZに取り込み、各種分析を行います。



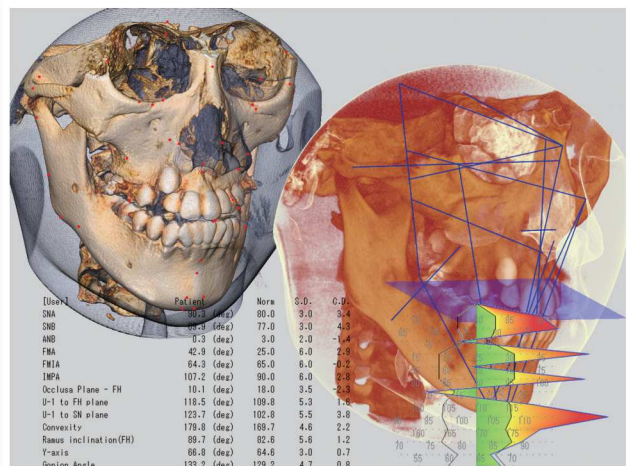
気道の評価

ポイントを入力すると気道が3Dで表示されます。立体的に表示された気道は面積の大きさに色分けされます。気道の体積や一番狭窄している部分の面積等の情報が画面上に表示されます。



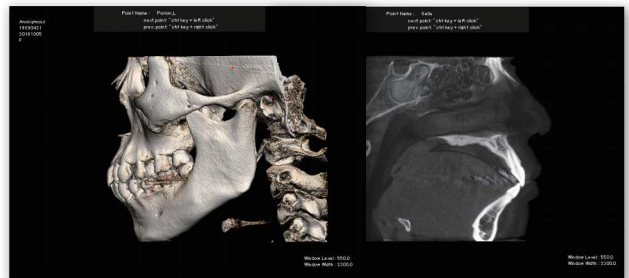
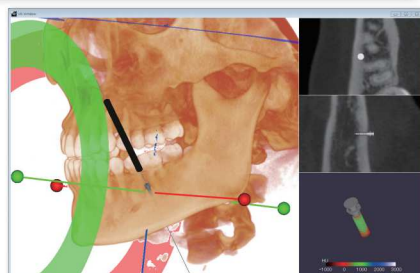
3次元分析

VRで確認できる分析点を用いて分析をします。右向き、左向きで入力した分析点の間を使用します。



シミュレーション

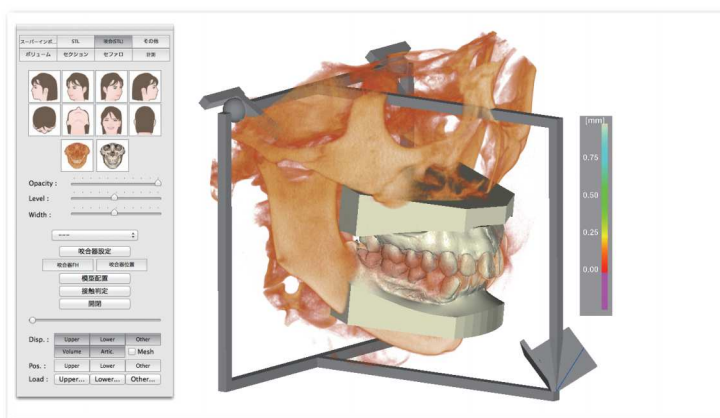
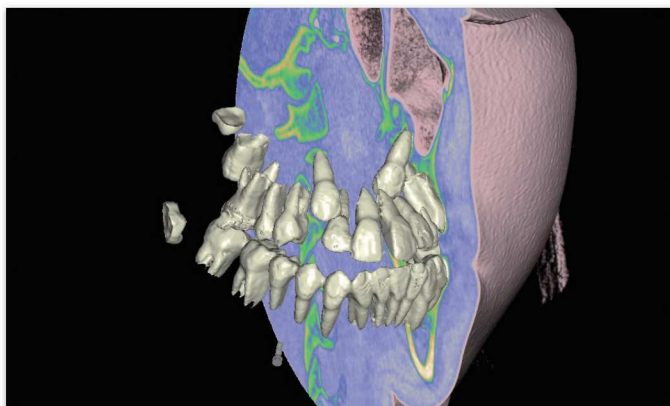
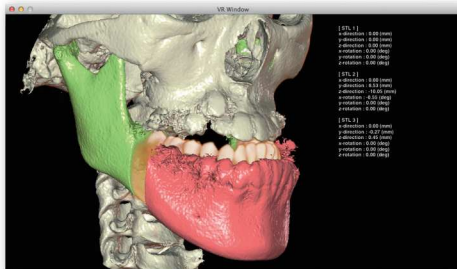
植立シミュレーションではスクリュー周辺部分の骨密度を表示します。



AtoZ のオプションソフトウェア

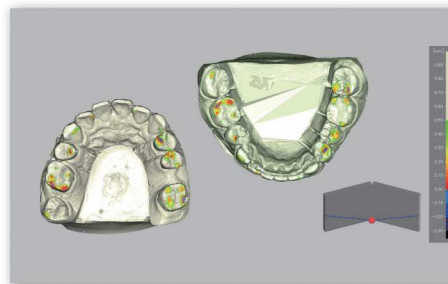
Anato STL モジュール

読み込んだボリュームレンダリングデータを STL に書き出します。
 歯根や骨を STL データとして抽出することができます。
 下顎骨を 2 つに分けて抽出することで外科シミュレーションを行なえます。



digi ARTI モジュール

digiARTI では、咬合器のシミュレーションをデジタルで行えます。
 接触判定の表示、VR と STL データを重ね合わせて咬合器シミュレーションが行えます。



スクリーガイドモジュール



AtoZ システム構成

● Macintosh X

3.4GHzクアッドコアIntel Core i5, メモリ16GB以上, 1TBシリアルATAドライブ
 21.5インチ(1280×1024ピクセル以上)
 Mac OS X 10.6 ~ 10.14対応 ※OS X 10.15に対応次第ご連絡いたします。
 ※ボリュームレンダリングを使用する場合、NVIDIA GeForce GTX 780M 等のグラフィックスボードが必要。メモリ16GB以上推奨。

● Windows

4.4GHz Intel Core i7, メモリ 16GB以上, 1TB HDD, DVD±RW, ±R,CD-RW,
 23インチTFT 液晶モニター以上 (1280×1024ピクセル以上)
 Windows 7, 8,10対応
 ※ボリュームレンダリングを使用する場合、クアッドコアIntel Core i5プロセッサ、nVIDIA GeForce GTX 1060 6GB GDDR5、メモリ 16GB以上推奨。



www.osas2003.com

第一種医療機器製造販売業

安永コンピュータシステム株式会社

〒918-8015 福井市花堂南2-20-3

☎ (0776) 33-5333 FAX (0776) 33-5334

〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-22 友野ビル3F

☎ (03) 3543-3533 FAX (0120) 53-3313